

令和5年度
学校評価報告書



綾瀬市立城山中学校

1 学校は、「意欲をもって学習する人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、校内研究のテーマを「主体的に学習に取り組む生徒の育成をめざして～自ら考え、発信できる力をつけるために～」とし、生徒が主体的・対話的で深い学びができる授業づくりをめざし、日々の授業改善に努めています。数学と英語の授業では少人数指導を継続して行い、指導の個別最適化を図っています。また、定期テスト前には学習会を2日間実施し、生徒の学習サポートも行っていきます。

生徒：あなたは、毎日の授業に意欲的に取り組んでいますか。

回答数 510



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

保護者：お子さんは、毎日の授業に意欲的に取り組んでいると思いますか。

回答数 376



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

教職員：生徒は授業に集中し、意欲的に取り組んでいますか。

回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

集計結果から、生徒、保護者、教職員ともに、今年度も約8割から「授業に意欲的に取り組んでいる」と評価を得ました。しかし、昨年度と比較すると若干ではありますが、全体的な数値は下がっています。これは、日々の授業環境や家庭学習に起因するところが大いと思われれます。教職員も今一度、授業改善への意識を高め、生徒が主体的・対話的で深い学びができる授業づくりを目指し、確かな学力の向上に努めていきます。

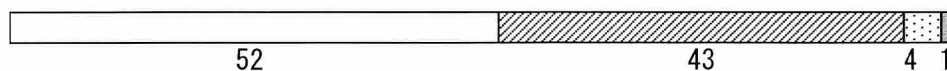
2 生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。

学校の取組

本校では、生徒による主体的な活動を大切にした取組を行うよう、各学校行事で生徒による実行委員会を組織し、中央委員や体育祭実行委員、合唱祭実行委員などを設けています。今年度も生徒による充実した学校行事が実施できるよう、事前の会議などを念入りに行いました。

生徒：あなたは、学校行事（体育祭・合唱祭・修学旅行などの校外活動など）や生徒会活動・部活動に積極的に参加していましたか。

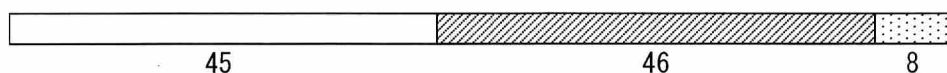
回答数 510



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

保護者：お子さんは、学校行事（体育祭・合唱祭・旅行的行事等）や生徒会活動・部活動に積極的に参加していると思いますか。

回答数 376



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

今後に向けて

集計結果は昨年度と比べ、概ね変わらぬ数値となりましたが、今年度は「積極的に参加しているとは思わない」という評価が若干増えました。今後も健康面の安全を第一に考え、感染症対策や熱中症対策等を講じながら、生徒が主体となる「生きる力を育むこと」を目指した学校行事や生徒会活動、部活動を実施していきます。

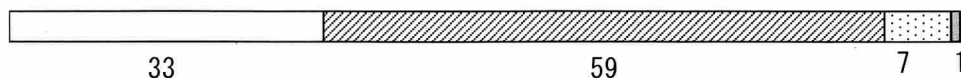
3 学校は、「共に生きる人」を育てる指導を積極的に行っている。

学校の取組

本校では、今年度も学校教育目標のめざす生徒像のひとつに「共に生きる人」を掲げ、自分と他人との違いを認めつつ、自分の思いや考えを積極的に伝え、仲間と共に高め合おうとする生徒の育成を目標に、様々な教育活動に取り組んでいます。さらに、「多様性」を認め合う社会がさげばれる現代社会で、さまざまな考え方に触れられるよう、各学年でソーシャルスキルトレーニングやグループワークを積極的に取り入れるなどしています。

生徒：あなたは、まわりの人に対してやさしく接していますか。

回答数 510



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

保護者：お子さんは、友人に対してやさしく接していると思いますか。

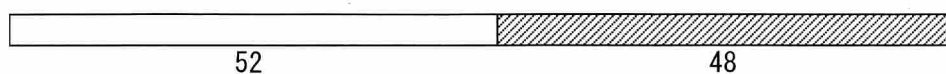
回答数 376



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

教職員：生徒間の人間関係が良好になるよう努めていますか。

回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

集計結果から、今年度も生徒、保護者ともに、「人に対してやさしく接していると思う」という評価が9割を超えました。しかし「そう思っていない」と回答する生徒も1割いることに、着目していかなければいけません。学校全体が「やさしさ」で溢れるよう、ソーシャルスキルトレーニングや道徳教育の充実を図り、人間関係づくりに努めていきます。

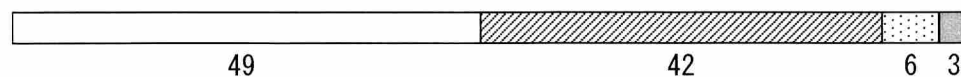
4 生徒は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

学校生活のふりかえりについて、学校生活に関するアンケートを毎月実施するとともに、1学期と2学期に担任との生活相談の機会を設けています。また、生徒とのコミュニケーションを日頃から大切にすることを意識し、教職員と生徒の関係を深め、よりよい学校生活が送れるように取り組んでいます。

生徒：あなたは、毎日の学校生活を楽しく送っていますか。

回答数 510



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

今後に向けて

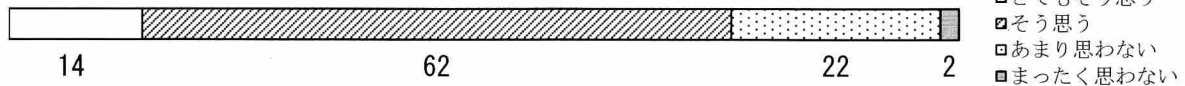
9割以上の生徒が「学校生活を楽しく送っていると思う」と、肯定的な回答をしています。しかし、1割弱の生徒は「学校生活を楽しく送っていないと思う」と、感じています。ソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンターなどの人間関係を深める集団活動を工夫し、生徒に寄り添った指導を行うことで、生徒一人ひとりが充実した学校生活を過ごせるよう、しっかりと取り組んでいきます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

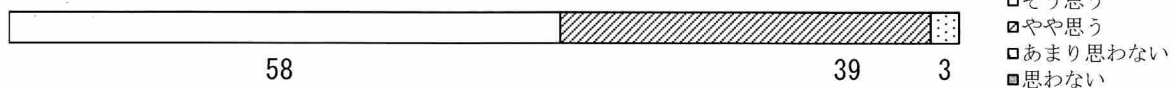
学校の取組

毎月行っている学校生活に関するアンケートを活用するとともに、生徒の小さな変化を見逃さないよう、日頃から生徒の行動を観察し、いじめの早期発見・再発防止に努めています。予防的生徒指導の観点から、すべての生徒の人権感覚が高まるよう、情報モラル教育を学級活動で行うとともに実情に応じて外部機関から講師を招請した授業も行っています。

保護者：学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っていると思いますか。 回答数 376



教職員：いじめの早期発見・再発防止に努めていますか。 回答数 31



今後に向けて

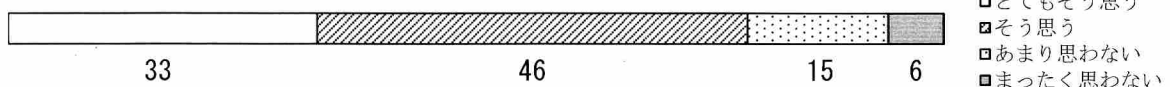
保護者の回答について、肯定的な回答は7割以上あるものの、肯定的でない回答は2割以上ありました。いじめの早期発見・再発防止のため、予防的生徒指導のさらなる工夫を検討し、ねばり強く取り組んでいきます。今後も、迅速且つ適切な生徒指導を実践し、すべての生徒が学校生活を安全・安心に送れるよう、学校全体で取り組んでいきます。

6 学校は、「健康な心と身体を育む」指導に積極的に取り組んでいる。

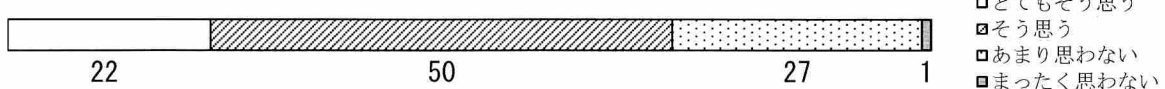
学校の取組

各学年で発達段階に応じ食育・保健に関する授業を年に数回実施しました。それぞれの内容を「SDGs」と関連させて行うことで、より深く健康な心と身体を育む学習を行うことができるよう取り組みました。また、道徳の授業においては、「思いやりの心、感謝の心を育む」をテーマに、教職員全体で研究に取り組み、授業で実践しました。さらに、四点固定（計画的な学習・早寝・早起き・朝ごはん）を奨励し、生徒に規則正しい生活の重要性を指導しました。

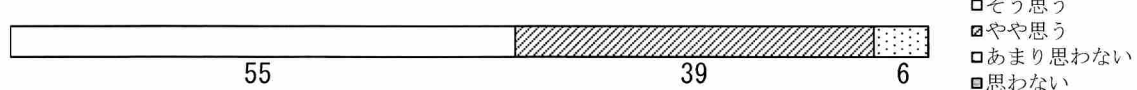
生徒：あなたは、自分の健康や体力に関心を持って生活していますか。 回答数 510



保護者：お子さんは、健康や体力に関心を持っていると思いますか。 回答数 376



教職員：生徒の心と体の健康に留意した教育活動を行っていますか。 回答数 31



今後に向けて

生徒、保護者ともに健康や体力に高い関心をもっていることがわかります。しかし保護者の「あまり思わない」以下の数値が高くなっていくことにも、着目しなければなりません。学校は家庭における生徒の実態を把握し、保護者と連携しながら、食育・保健教育を進めていきます。また、学校内の実践を、「保健だより」や「学年だより」をとおし、広く保護者に伝えることで、学校と家庭の共通理解を深めていきます。

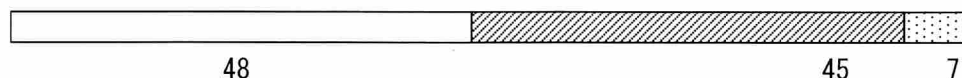
7 学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

今年度は4月（地震）、10月（火災）、そして1月には消防本部の協力のもと、消防訓練を実施しました。また、11月には、警察本部の方に協力いただいて、1・2学年を対象に、自転車安全教室を実施しました。その他にも、各学年で災害から命を守る学習など、発達段階に応じた指導を行いました。施設については、定期的な安全点検に加え、授業間の見回りや最終下校後の戸締り等の際に、職員間で連携をし、日々の点検に注力しています。

教職員：生徒が安全な生活を送るための指導を行っていますか。

回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

教職員：教室整備や施設の点検・整備に努めていますか。

回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

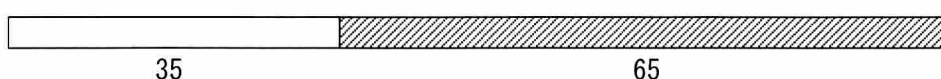
今年度も昨年度同様、教職員の意識の高さが伺えます。しかし、「あまり思わない」という教職員が一部いることにも着目していく必要があります。今年度の反省を生かし、避難訓練の実施内容について見直しを行っていく等、学校全体で、より「実践的な訓練」を目指していけるように工夫します。また日常的な施設の点検・整備に取り組み、生徒が安全・安心に過ごせる学校施設を維持していきます。

8 学校は、生徒に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

生活相談や毎月の学校生活に関するアンケートを実施することで、生徒が相談しやすい環境づくりに努めています。課題を抱える生徒の指導については、教育相談コーディネーターを交えて保護者とともに考え、学校内の人的資源を活用するとともに、ケースによっては関係機関と連携し、多面的な支援を行っています。

教職員：一人ひとりの生徒に応じた適切な支援体制づくりに努めていますか。 回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

教職員の支援教育に対する意識の高さが結果に表れています。学習面の支援においては、ICTを活用した個別最適な学びを実現する課題があります。生徒がよりよい学校生活を送れるよう、生徒との信頼関係づくりに努めるとともに、生徒理解を一層深め、生徒一人ひとりを尊重した支援教育に今後も取り組んでいきたいと思えます。

9 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、校長・教頭のリーダーシップのもと、総括教諭をグループリーダーとして教育計画・校外連携・生き方指導・適応支援・生徒活動支援の5つのグループに教職員が分かれ、学校教育目標達成をめざして、様々な職務や課題に取り組んでいます。また毎月定例でグループ会議、企画会議を行い、円滑な学校運営に努めました。今年度は新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和があるなど、臨機応変な対応が求められました。

教職員：グループにおける職務を円滑に遂行していますか。

回答数 31



- そう思う
- ▨ やや思う
- ▤ あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

集計結果から、9割以上の教職員が肯定的な回答をしています。このことは、校長の学校経営方針のもと、各グループが総括教諭を中心に円滑な活動を行ってきたことのあらわれだと考えられます。しかし、昨年度と比較し「そう思う」と回答した職員の割合が減少し、「やや思う」が増加しました。上記のように、変化が大きな年度であったため、臨機応変な対応に追われたことも事実です。来年度も凡事徹底を意識し、職務にあたりたいと考えます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取り組みに力を入れている。

学校の取組

今年度より校内研究のテーマを「主体的に学習に取り組む生徒の育成をめざして～自ら考え、発信できる力をつけるために～」と設定しました。また、研究のねらいを「子どもの学習活動を増やすための授業改善」とし、『子どもが主役となる学習活動』の機会を増やすとともに、その学習活動の中でインプットとアウトプットをくりかえし、生徒の発信する力を育成することをめざし、授業改善を行いました。

教職員：指導力向上に向けた校内研究に積極的に取り組んでいますか。

回答数 31



- そう思う
- ▨ やや思う
- ▤ あまり思わない
- ▣ 思わない

教職員：教師の力量を高めるための校内研修に積極的に取り組んでいますか。

回答数 31



- そう思う
- ▨ やや思う
- ▤ あまり思わない
- ▣ 思わない

今後に向けて

校内研究に対する意識は昨年度より高まりました。本年度は研究テーマを変更したことで『育てたい生徒の姿』がイメージしやすくなり、授業改善に対する意識が高まったのだと考えられます。また、校内研究の班編成を異なる教科ごとのグループとし、教科の垣根を越えて授業アイデアを共有できたことが意識を高める要因と考えられます。来年度以降も授業改善に取り組んでいきます。

11 学校は、生徒の実態を把握し、よりよい生徒の成長のための工夫をしている。

学校の取組

日常の生徒との関わりや月末に行う学校生活に関するアンケートなどをおし、生徒の実態を把握するよう努めています。また、生徒との日常的な関わりから生徒の抱える悩みや問題を敏感に感じとり、それを教員間で共有し、生徒一人ひとりの学校生活が充実したものとなるよう心がけています。本校の教育目標である「自立する生徒」の育成をめざし、授業や部活動、学校行事など、学校生活全般にわたって生徒の主体的な活動を支援しています。

保護者：学校は、教育目標である「自立する生徒」を育てるための指導の工夫をしていると思いますか。

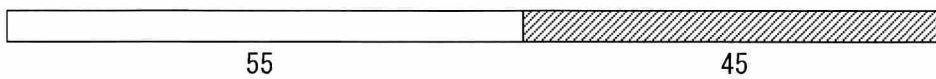
回答数 376



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

教職員：学校教育目標を意識した教育活動を行っていますか。

回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

アンケート結果から、昨年度と全く同じ結果となりました。「指導の工夫をしている」という評価は依然として高いものの、「まったく思わない」と感じている回答も引き続き見受けられます。一方で教職員の意識は「指導の工夫をしている」と感じている割合が増えているので、学校教育目標である「自立する生徒」の育成に向け、各家庭と連携しながら、生徒が自ら考え、主体的に取り組む教育活動をさらに推進していきます。

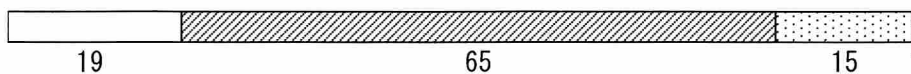
12 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

本校では、定期的に「学校だより」「学年だより」を発行しています。「学校だより」では、学校全体に関する情報を、「学年だより」では、各学年の情報を発信しています。そして、「学校だより」はデジタル連絡ツール（C4th）を活用し、情報共有に努めています。また毎学期、懇談会の実施、2学期には授業参観週間を設定し、保護者に適切な情報を提供するよう努めています。PTA活動においても、各委員会の活動や城山祭を実施することができ、保護者と教職員が一体となった取り組みを行うことができました。

保護者：学校の情報が保護者にわかりやすく伝えられていると思いますか。

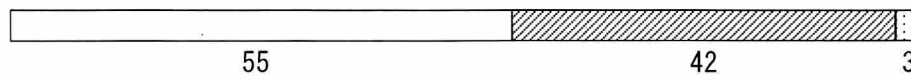
回答数 376



- とてもそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

教職員：学校の情報を保護者に伝え、協力や理解を得るための工夫をしていますか。

回答数 31



- そう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

今後に向けて

保護者からの「伝えられていると思う」という回答が、8割を超えています。これは、デジタル連絡ツール（C4th）に加え、学校と家庭が情報共有に努めた成果であると考えられます。しかし、一方で2割近い家庭が「あまり思わない」に回答していることから、今後も、デジタル連絡ツールのさらなる活用や毎学期ごとの懇談会、保護者会などをおして、学校と家庭との情報共有や連携を充実させていく必要があります。